



高槻赤十字病院

地域医療連携室だより

梅のつぼみもまだ堅いようですが、皆さまにはますますご健勝のほどお喜び申し上げます。いつも、高槻赤十字病院との医療連携にご協力いただきありがとうございます。

患者さまや家族にとって在宅と病院との出入口となる「患者支援センター」が開設され半年が経ちました。日々の連携業務を見直す際の合言葉は、まさに「連携」。患者支援センターの一部である地域医療連携室のスタッフの所感や、いただいたご意見とその対策などをお伝えする新コーナー「見える！連携室」を通して、皆さまと高槻日赤との距離が近づくことを願っています。ぜひ、忌憚のないご意見をお聞かせください。

見える！連携室 その①

つなぐ 連携



当院は、平成23年11月25日付けで、「地域医療支援病院※」に承認されました。それから丸3年が経ち、「地域医療支援病院」として地域の登録医の先生方から当院へのご意見にお応えするにはどのような対策があるのか・・・地域住民の方々のニーズにお応えするにはどうすればよいのか・・・多職種の職員で相談する場を設けて日々検討しています。

病院・診療所との連携を円滑に行うために開設された地域医療連携室も、地域の先生方に喜んで利用していただけるように、そして紹介していただいた患者さまに安心して治療を受けていただけるように、院内職員からの意見や、登録医の先生方からお叱りの言葉や激励の言葉をスタッフ全員で咀嚼し、改善策を練り、院内外の情報発信源として努めておりますが、双方向のバトンをうまく渡せない場面もありました。

どうしたらバトンをつなぐことができ、「利用したいと思っただけの病院」になれるか。まず取り組むべきこと・・・それは、地域の先生方の声を的確・迅速に伺い、ご意見を大切に院内へ反映させていくことが最優先だと考え、昨年の秋より地域医療連携室に渉外担当者（迫田）が配属されました。渉外活動としてフレッシュな活動をして、これまで以上に地域の先生方との連携を強化していきたいと思えます。

また、地域医療連携室スタッフは、「顔の見える地域医療」は1ケース1ケース、場面ごとに、信頼関係を築くこと、と肝に銘じ、全員が行動にうつす。これが、今の当院の地域医療連携室の目標です。地域の基幹病院として地域の先生方をはじめとして、地域住民の方々への医療・介護のサービス向上を目指し、当院への紹介患者数・地域への逆紹介数のアップに貢献していきたいと思えます。

※「地域医療支援病院」とは・・・地域のかかりつけ医の支援、地域医療の充実を目的に、平成9年4月の第3次医療法改正で創設された。救急医療の提供・紹介患者の受入れ・かかりつけ医への患者の逆紹介・施設の共同利用・地域の医療従事者に対する研修などの役割がある。患者さまがより満足を得られるようにかかりつけ医の先生方と協力しあって、地域完結型の医療の提供に努めていくことに尽力を注ぐ。

新規登録医療機関のご紹介

せしも胃腸肛門クリニック

院長 瀬下 徹先生
茨木市元町 2-10



(瀬下先生と、当院外科小林部長)

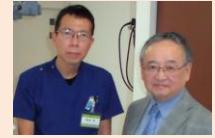
瀬下先生からのメッセージ

このたび生まれ育った茨木の地で開業することになりました。大学卒業後は消化器を中心に研鑽を重ねて参りました。肛門疾患は一般的に簡単に「痔」と言われますが実際は多種多様な診断・治療には高い専門性が求められます。私は肛門科の専門施設で数多くの症例を経験しましたので、患部を直接目で見られない患者さんが疑問をもたれる点については熟知しているつもりです。日本大腸肛門病学会 肛門領域指導医・専門医として正確な診断と患者さんに合った適切な治療を行います。皆様のおなやみの多い“おなか(食道・胃・大腸)”については些細なことでも何でもご相談ください。

また女性の方に多い便秘の治療には様々な工夫をしています。その他の疾患についても気軽に受診していただける明るいクリニックづくりを目指して皆様の健康増進に少しでもお役に立てるように努めていく所存です。

もりた内科・胃腸内科

院長 森田 勇先生
高槻市川添 2-15-8



(森田先生と、当院玉田副院長)

森田先生からのメッセージ

大阪府高槻市出身で、私立関西大倉高校を卒業後、福岡大学医学部に入学いたしました。平成9年4月に福岡大学第一内科に入局し、一般内科の研修を受けた後に平成12年4月より福岡大学消化器内科に所属し、食道、胃、大腸の消化管疾患を中心とした臨床を行い、多数の内視鏡検査、治療を施行してきました。また、研究については大学院にて腸炎メカニズムの研究で博士号を修得しました。平成25年3月まで、福岡市医師会成人病センターにて消化器内科部長として勤務いたしておりましたが、今後これまでの経験を生かし、出身地である高槻で地域のホームドクターとして貢献できればと考え平成25年11月に開院いたしました。当院は、内視鏡(胃カメラ、大腸カメラ)については、基幹病院なみの最新式の機械を設置いたしており、楽に検査を受けて頂ける様に配慮いたしております。御希望の方はお気軽にご相談ください。

やまぐち整形外科リウマチクリニック

院長 山口 和男先生
茨木市天王 2-6-7
エルディ南茨木 4F



(当院玉田副院長と、山口先生)

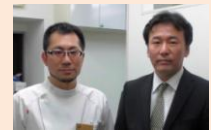
山口先生からのメッセージ

医師となり20年目を迎える節目の年、平成26年4月に南茨木で開院させていただくことになりました。私は大阪医科大学整形外科科学教室に入局以来19年間、臨床の場において多くの患者さんの治療に携わって参りました。また大阪医科大学附属病院を始め、高槻赤十字病院、藍野病院、済生会茨木病院と医師として2/3以上の時間を北摂地域で過ごしました。今後は今までの心がけを継続しつつ「整形外科のかかりつけ医」として、よりいっそう多くの皆様に安心感・満足感を提供し、生まれ育った茨木の地で地域の皆様に貢献していければと考えております。

「日本整形外科学会 整形外科専門医」「日本リウマチ学会 リウマチ専門医」「日本手外科学会 手外科専門医」「日本体育協会公認スポーツドクター」が幅広い専門的な治療で皆さまの健康をサポートいたします。運動器リハビリテーション II の施設基準を取得、経験豊富な理学療法士と連携しながら、適切な運動器リハビリテーションを行える環境を整えています。

整形外科なかむらクリニック

院長 中村 信之先生
高槻市真上町 2-1-31



(中村先生と、当院救急部副部長・整形外科幕谷先生)

中村先生からのメッセージ

私はこれまで膝や肩、足などの手術を行ってきました。手術の機器や技術は日々進歩し、どんどんと良い手術が提供できるようになってきています。しかし手術だけでは完全には治りません。手術後のリハビリが大切なんです！にもかかわらずリハビリが出来る通いやすいクリニックが無く、困られている患者様をよく見かけました。手術が終わって元気になったら色々なことをやってみたい！と希望を持たれている方が多いのではないのでしょうか？または怪我をして手術を受けなくてもいい様に、怪我の予防ができる病院が無いかと思われたことはないでしょうか？私はしっかりとリハビリが出来る自宅近くのクリニックを目指して開業しようと思いました。少しでも動けるようになり、楽しい思い出が増やされるように協力させていただきたいと思っています。また、内科等の専門外の病気であっても診察・治療又は紹介もさせていただきますので、一度相談に来て頂ければと思います。

地域医療連携室

外来予約・経過照会・セカンドオピニオン・転院のご依頼などの窓口です

◆◆TEL 受付時間 平日 8:40-19:00◆◆

TEL : 072-696-3274 (地域医療連携室)

◆◆FAX 受信は 24 時間受付◆◆

FAX : 072-695-0054 (地域医療連携室) 19 時以降・休日受信は翌営業日朝の確認となります

◆◆メールアドレス◆◆

byousin@takatsuki.jrc.or.jp